



基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心と心をつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

JUSTICE

自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション

ジェイアール・イーストユニオン
 発行者 菅野 一位
 編集者 教 宣 部
 〒105-0021
 東京都港区東新橋 2-8-28
 TEL(JR) 057-7333
 TEL(NTT) 03-6452-9687
 ホームページ検索
 「JREユニオン」

JR東日本の現状

新型コロナウイルス感染症拡大によりJR産業は大きく傷つき、一昨年には定期昇給2係数がカットされ、期末手当の大幅な削減がおこなわれました。また、変革2027の実現に向けて、「組織再編」「融合と連携」等、国鉄改革以上の大変革が実施されています。

現在JR東日本では約8割の社員が組合未加入です。JR東労組と会社から解き放たれたJR東労組組合員が大量に脱退しました。その後JR東労組から分裂した組合が複数結成され現在に至っています。

JR東日本の中には、今複数の労働組合が乱立しています。社員はどの労働組合に加入してもいい「オープンショップ制(社員が自由に選択)」という制度になっています。そして組合員は、途中で組合を変わっても何ら問題ありません。

「JR連合結成30周年」

JR東日本の労働組合変遷と

未来へつなぐ労働運動

大切なのは 労使の信頼関係

今、労働組合が乱立した中、また未加入者が多数の職場はどうなっていますか。原点は、「国鉄改革」とJR東日本の発足「国鉄の労働組合の歴史」にあります。組織の本質や歴史の流れは大変重要な部分であり、無関心でいる事は歴史の繰り返しに陥ることに危惧されます。現にJR東日本内の多数派労働組合が、スト権を持ち出したことをきっかけに、多数派の労働組合が崩壊しました。労使における価値観の相違が信頼関係の構築を阻害し、対立関係が労働組合の正義でもなく、組合員を守る手法でもなかったことになりました。歴史を学ぶことは、将来に向けて働く自分のためにも家族のためにもとても重要なことです。判断するのは自分自身。自身で労働組合の本質を見抜き、見極めて働く職場と家族の幸せ・将来を守るための選択をすることが大切です。

イーストユニオンは、企業内労働組合としての運動を実践します。会社と共に良い会社を作ること、その会社で良い職場を造ることが企業内労働組合です。社員のモチベーションを上げる賃金形態、労働環境を創る。組合員としての活動を通し生産性を向上させることで、賃金・労働環境・福利厚生の上を図り、JR東日本社員としてのモチベーションを高めることです。

経営者だけの変身ではこの衰退は止められませんが、多様な労働環境での「変革2027」を経営者の変身と一緒に変えなければ、JR東日本の衰退を抑えることはできません。それを後押しできるのは労働組合の組合員として、社員一人ひとりが考え「労働組合の存在意義」「真の労使関係」を認識し、

組合員・社員自身の問題として自らを意識変革する必要があります。会社パートナーとなる真の企業内労働組合は、イーストユニオンから変革していく発展的な組織であり、変革する組合員が社員と共にパラダイム転換し、社員・会

社をエンカレッジ(元気づけ)していきます。変革されたイーストユニオンと共に創り、組合員が意識変革に取り組み。そこから経営者と一緒に転換することで、変えてもらうのではなく自ら変わることによって社員一人ひとりの生産性を高め強靱な会社をつくり、次の30年を担う第一歩になります。その第一歩を「真の労使関係、労使パートナー」を目指すイーストユニオンと共に、イーストイノベーションで考え実践していきます。

